

各位

会社名 モリト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 一坪 隆紀  
(コード番号：9837 東証プライム市場)  
本社所在地 大阪市中央区南本町4丁目2番4号  
問合せ先 取締役上席執行役員 管理本部長 兼  
経営管理本部長 阿久井 聖美  
(電話番号：06-6252-3551)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年1月12日開催の取締役会において、自社の資本コストや資本収益性についての現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 現状分析

当社は、下表のとおり、現時点において、PBR、ROEともに改善傾向にあるものの、未だPBRは1倍割れ、ROEも当社の認識する資本コストを下回っている状況にあります。

当社にとって、「**資本コストを上回るROEの実現**」は、必須であることから第8次中期経営計画の最終年度である2026年11月期に向けて、ROE6.5%を達成すべく、下記の「課題・重点施策」、およびIR戦略の強化に取り組み、適正な資本構成の実現のもと、成長戦略を加速させ、企業価値の最大化を図ってまいります。

	2021年11月期	2022年11月期	2023年11月期	2024年11月期 業績予想
連結売上高 (百万円)	43,637	48,478	48,529	51,000
連結営業利益 (百万円)	1,620	2,116	2,470	2,600
連結当期純利益 (百万円)	1,407	1,674	2,238	2,300
ROE (%)	4.1	4.6	5.9	-
PBR (倍)	0.52	0.55	0.90	-
期末株価 (円)	641	758	1,295	-

## 2. 企業価値の最大化に向けた課題・重点施策

### (1) 売上高・営業利益率の成長 (2026年度 連結売上高 600億円)

- ・既存事業の成長投資を実行
- ・営業利益率の改善
- ・新規事業投資 (M&A 含む)
- ・メーカー機能の拡大
- ・人的資本の投下

### (2) 資本収益性向上 (2026年度 ROE6.5%以上)

- ・当期純利益率の改善
- ・サステナビリティ経営の推進
- ・機動的な自己株式の取得
- ・CCCの改善
- ・B/Sの効率化

### (3) 資本効率性向上 (DOE4%基準・配当性向 50%以上)

- ・財務健全性維持
- ・適正な財務レバレッジ (有利子負債の活用)
- ・WACCの低減
- ・安定かつ持続的な株主還元策
- ・経営資源の適切な配分

※「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の詳細につきましては添付をご参照ください。

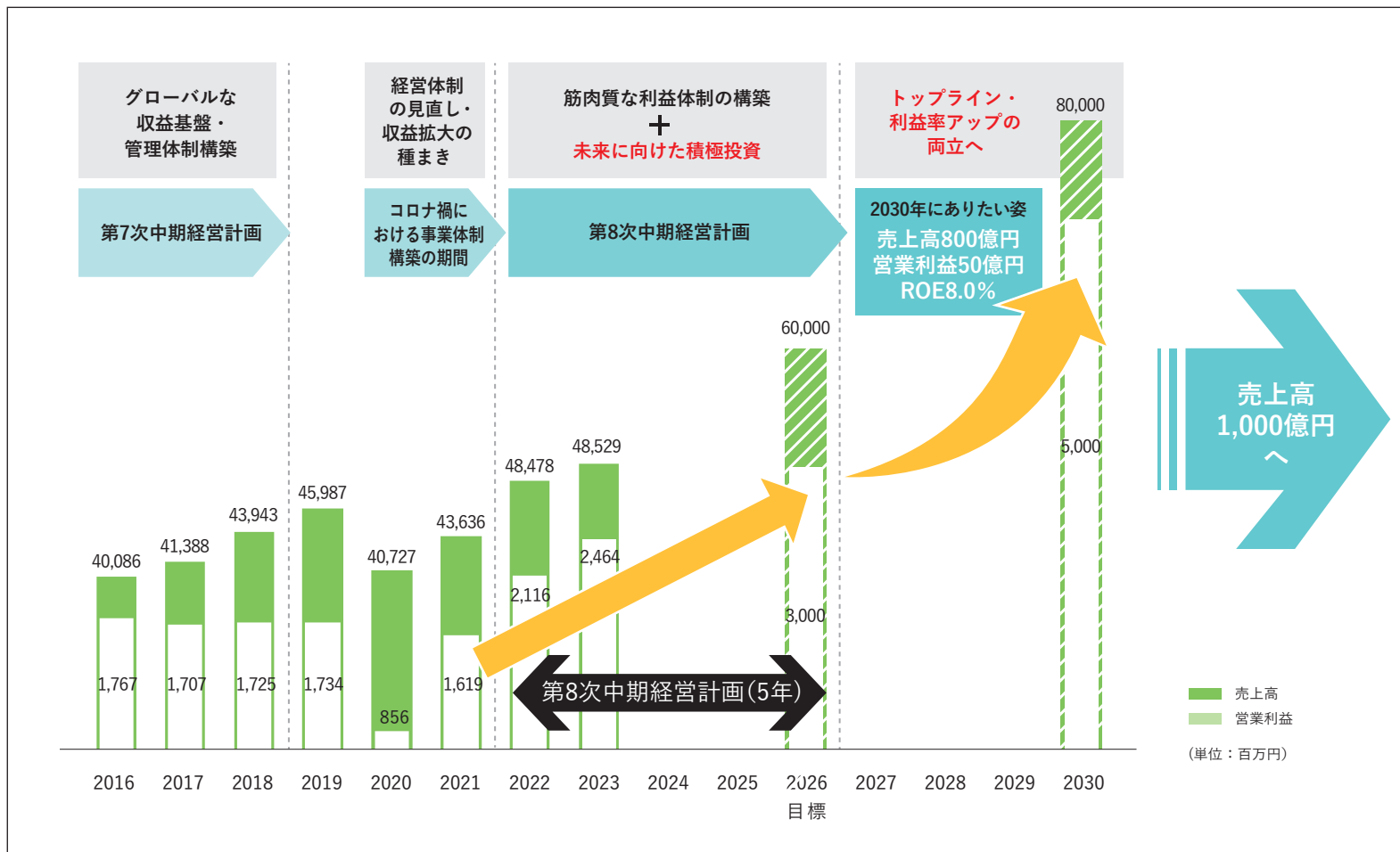
※同日開示いたしました「第8次中期経営計画のアップデートに関するお知らせ」につきましては、下記リンクをご確認ください。

URL : [https://www.morito.co.jp/assets/file/8thmidtermplan\\_update.pdf](https://www.morito.co.jp/assets/file/8thmidtermplan_update.pdf)

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

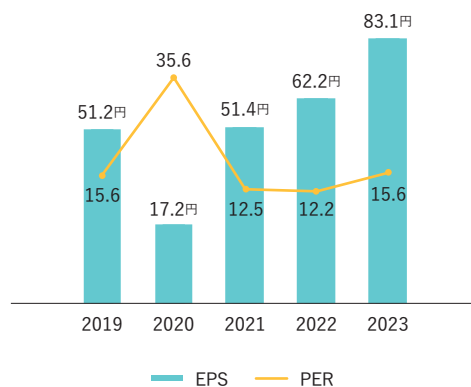
以 上

# 中期経営計画アップデートにあたっての基本的な考え方

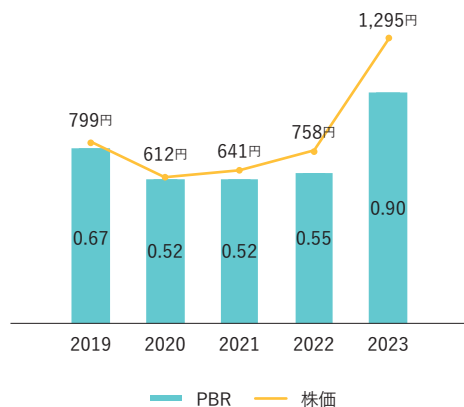


# コーポレート戦略 【資本政策・財務戦略：現状分析】

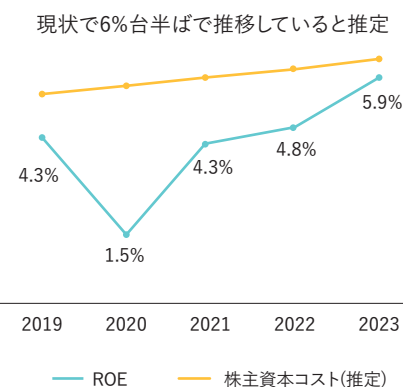
### EPS推移



### 株価・PBR推移



### ROEと株主資本コスト



### 現状分析

構造改革による利益体質改善や株主還元策の変更

- ・ EPSが上昇
- ・ PBRが1倍近くまで上昇
- ・ ROE6.0%近くまで上昇

### 課題

ROEが株主資本コストを下回っているため、  
資本収益性の向上が課題であると認識

# コーポレート戦略 【資本政策・財務戦略：資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応】

